

5.お手入れのしかた

- 日常のお手入れは、乾いたやわらかい布でから拭きしてください。
 - 汚れが著しい場合は、以下の手順で汚れを落としてください。
 1. うすめた中性洗剤につけた布を、かたく絞って拭いてください。
 2. 水につけた布をよく絞って、洗剤が残らないように拭き取ってください。
 3. 乾いたやわらかい布で、水分が残らないように拭き取ってください。
- 〈汚れを落とすときの注意〉
水にぬれたままにしておいたり、アルコールやシンナー系溶剤、酸・アルカリ性洗剤の使用は避けてください。さびや変色の原因になります。

6.仕様

品番	KT-(P)S900	KT-(P)S901	KT-(P)S902	KT-(P)S903	
外寸法 (mm)	幅	1800	1800	1500	
	奥行	450	600	450	
	高さ	700	700	700	
下肢空間寸法 (mm)	幅	1635	1635	1335	
	高さ	590	590	590	
質量 (kg)	パネルなし	20	22.5	18	
	パネル付き	22.5	25	20	
素材	天板	表面：メラミン化粧板、エッジ：樹脂押出材（オレフィン系樹脂）			
	パネル（P付品番のみ）	樹脂押出材（PP）			
	脚	スチール異形パイプ、メラミン焼付塗装			
	支柱	スチール角パイプ、メラミン焼付塗装			

※P付品番（KT-PS□□）は、前パネル付きタイプです。

■保証について

〈保証内容のご確認とお願い〉

この取扱説明書（本書とする）は、保証期間中に、取扱説明書・本体貼付ラベルなどの注意書にしたがった正常な使用状態で当社の責任と認められる不具合・故障が発生した場合は、無料修理規定に基づいて、無料修理を行うことをお約束するものです。

保証期間経過後の有償修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様相談室までご相談ください。

〈無料修理規定について〉

無料修理規定の詳細は、本体の取扱説明書をご覧ください。

〈保証期間について〉

保証期間は、社団法人日本オフィス家具協会（JOIFA）のガイドラインに準拠して、お買い上げの日から下記の年限とさせていただきます。

1年	外観・表面仕上げ	塗装および樹脂部品の変色・退色、レザー・クロスの摩耗。
2年	機構部・可動部	引き出し・スライド機構・扉の開閉・錠前・昇降機構などの故障。
3年	構造体	強度・構造体にかかわる破損。

※次のような場合には、保証期間内でも有償修理をさせていただきます。

- イ) ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷
- ロ) お買い上げ後の無理な取り扱い・輸送・落下などによる故障および損傷
- ハ) 火災・塩害・ガス害・地震・風水害・落雷・その他天災地変・異常電圧などによる故障および損傷

コクヨ株式会社

本社オフィス 〒537-8686 大阪市東成区大今里南6丁目1番1号

ホームページURL <http://www.kokuyo.co.jp/>

お問い合わせ、ご相談はフリーダイヤル（全国共通）

お客様相談室 ☎ 0120-201-594

受付時間：9時～17時（土日祝日・年末年始・夏期休業中を除く）

1511050039BKH

KOKUYO

取扱説明書

会議用テーブル〈天板フラップ〉KT-900シリーズ

KT-(P)S90□



もくじ

- 1. 安全上のご注意 …………… 1
- 2. 未永くご使用いただくためのご注意 …… 2
- 3. 使いかた …………… 3
- 4. 組み立てかた …………… 5
- 5. お手入れのしかた …………… 裏表紙
- 6. 仕様 …………… 裏表紙

このたびはコクヨ商品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前に、よくお読みの上、正しくお使いください。お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

※諸般の事情により、予告なく仕様が変わることがあります。あらかじめご了承ください。

1.安全上のご注意

ここに書かれた注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。いずれも安全にお使いいただくための重要な内容ですから、必ずお守りください。

⚠警告 取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性があります。

⚠注意 取り扱いを誤ると、軽傷を負うかまたは、物的損害が発生する可能性があります。

⚠警告

- 商品を廃棄するときは、焼却しないでください。
有害ガスが発生するなど、周囲に危険をおよぼす原因になります。
商品を廃棄するときは、専門業者に依頼するか、お買い上げの販売店にご連絡ください。

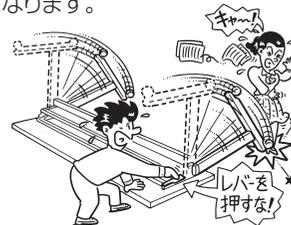
⚠注意

- 健康に影響をおよぼすことが考えられますので、以下の内容を守って使用してください。
 - ・ この商品を購入された当初は、化学物質の発散が多いことがありますので、しばらくの間は換気や通風を十分に行ってください。
 - ・ この商品をご使用になる室内が著しく高温多湿(温度28℃ 相対湿度50%超が目安)になる場合は、窓を閉め切らないようにするか強制的に換気を行ってください。
- 乱暴な取り扱いや、会議用テーブルとしての用途以外の使用はしないでください。
けがや故障・破損の原因になります。
- 商品の組み立ては、記載している手順・方法通りに行ってください。
誤った手順・方法で組み立てますと、けがや破損のおそれがあります。
- ストープなど火気に近づけて使用しないでください。
やけどや火災の原因になります。

①

- 床に傾斜や段差のある、不安定な場所では使用しないでください。
転倒によるけがの原因になります。
- この商品を、運搬車かわりに使用しないでください。
転倒や破損の原因になります。
- 運動具や乗物がわりに使ったり、ゲームなどの遊びに使用しないでください。(特にお子様にご注意してください。)
転倒や破損により、けがをする原因になります。
- 可動部のすきまに手や指を入れないでください。(特に天板開閉時は注意してください。)
けがをする原因になります。
- 使用していないボルト穴や取付穴に指を入れないでください。(特にお子様にご注意ください。)
けがをする原因になります。
- 折りたたみ部に手をかけたまま、天板を開閉しないでください。
手をはさんで、けがをする原因になります。
- 天板の上に立ち上がったたり、腰を掛けたりしないでください。
転倒や転落により、けがをする原因になります。
- 耐荷重(全面に均等にのせた場合:294N [約30kgf])を超えて天板にものをのせないでください。
天板がたわんでもものが落下し、けがや破損の原因になります。

- 天板の端に体重をかけたり、重いものをのせないでください。
転倒や落下により、けがをしたり、ものを破損する原因になります。
- キャスターのストッパーを操作するときは、③ページ②の要領で注意して行ってください。
転倒や破損により、けがをするおそれがあります。
- スタックする際、テーブルどうしの間に手や足をはさまないように注意してください。
けがをするおそれがあります。
- テーブルを裏返した状態で、レバーを動かさないでください。
ロックが解除されて脚が急に倒れ、けがをする原因になります。



- テーブルを移動させるときは、「移動のしかた」(④ページ③)の要領で、注意して行ってください。
テーブルの転倒事故を起こすおそれがあります。

2.未永くご使用いただくためのご注意

- この商品は室内または屋内用です。
屋外での使用や水ぬれは、故障やさび・変色の原因になります。
- 直射日光やストーブなどの熱が直接あたる場所や、湿気、乾燥の著しいところでの使用は避けてください。
変色や変形・そりなどの原因になります。

②

- 可動部に注油しないでください。
油がたれて床や衣類を汚す原因になります。
- 商品の分解や改造はしないでください。
けがや破損の原因になります。
- ボルトやネジがゆるんだままで使わないでください。
本体の変形・破損や転倒により、けがをする可能性があります。早めに締め直してください。
- 溶接の外れ、カバーやキャップ類、キャスターの欠落など、異常を発見したときは、直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。
そのまま使用していると、商品の破損により、けがをすることがあります。
- 商品に貼ってあるラベルは、絶対にはがさないでください。
誤った使いかたや事故を防止するためのものです。ラベルがなくなったり、はがれたときは、当社から取り寄せ正しい位置に貼ってからご使用ください。
- この商品を他の人が使用するとき、この取扱説明書をよく読んでから使用するようにご指導ください。

3. 使いかた

① 天板の開きかた・たたみかた

1. 天板の開きかた

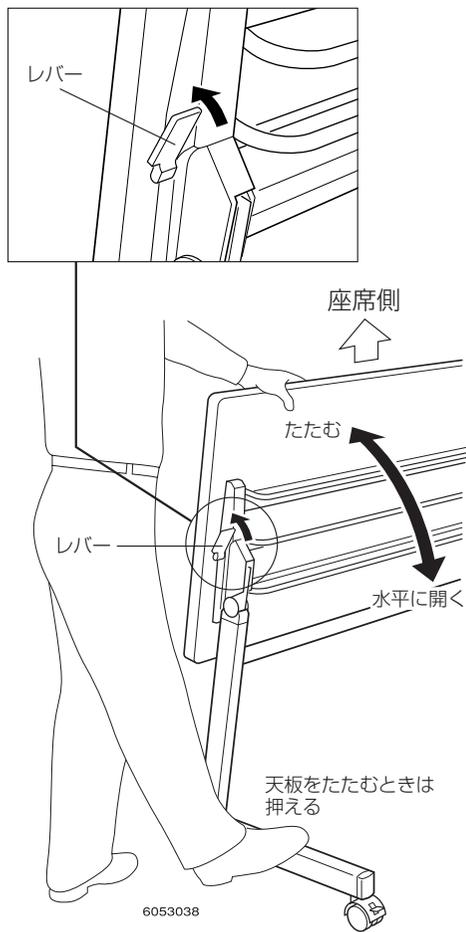
レバーを矢印の方向に動かしてロックを解除し、天板の座席側を持って、ゆっくり水平に開いてください。

2. 天板のたたみかた

レバーを矢印の方向に動かしてロックを解除し、脚を足で押さえながら天板の座席側を持って、ゆっくり垂直にたたんでください。

△注意

- 可動部のすきまに手や指を入れないでください。
けがをするおそれがあります。
- 天板を開閉するときは、周りに人がいないことを確認してから行ってください。
周りの人に当たって、けがをさせるおそれがあります。
- 天板を開閉するときは、一人で操作してください。
けがをするおそれがあります。
- 開閉後は、天板が確実に固定されたことを確認してください。
固定されていないと天板が倒れて、けがをするおそれがあります。

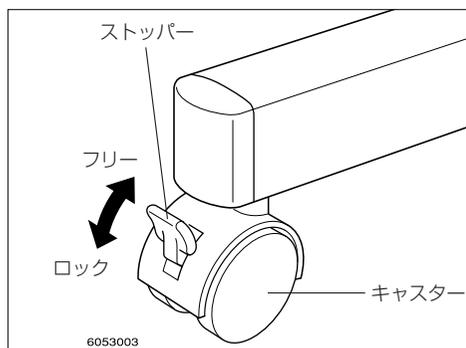


② キャスター操作のしかた

キャスターのストッパーを押し下げるとロックされ、引き上げるとフリーになります。

△注意

キャスターのストッパーを操作するときは、足で行ってください。
足以外で行うと、けがや破損のおそれがあります。



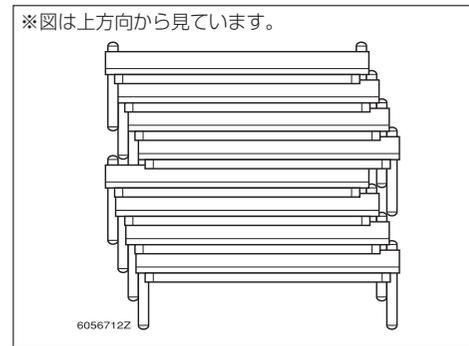
③

③ 移動のしかた

キャスターをフリー状態にし、天板に両手を添えて、テーブルの長手方向(貼付ラベルの指示方向)に移動してください。

△注意

- キャスターがロック状態のまま動かさないでください。
本体が倒れてけがをしたり、床を傷つけることがあります。
- 天板をたたんだ状態では、重心が折りたたんだ側に偏りますので、必ず天板に両手を添えて移動させてください。
- 移動させるときは、床の段差や溝に注意して行ってください。
- 収納するときにやむをえず前後方向に移動させる場合は、天板中央を押すと転倒しますので、天板両端を交互に少しずつ押して行ってください。



④ 収納のしかた

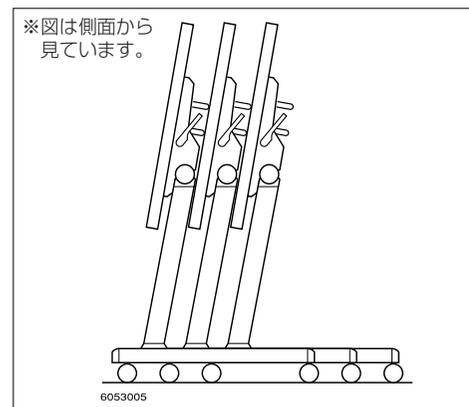
収納するときは、図のようにD600タイプの場合は6台ごとに、D450タイプの場合は4台ごとに重ねてスタックしてください。
図は、D450の場合です。

〈使用時のご注意〉

異なるサイズのテーブルをスタックさせないでください。
脚に傷がついたり、破損の原因になります。

△注意

スタックする際、テーブルどうしの間に手や足をはさまないように注意してください。
けがをするおそれがあります。



④

4.組み立てかた

△注意

商品の組み立ては、記載している手順・方法通りに行ってください。
誤った手順・方法で組み立てますと、けがや破損のおそれがあります。

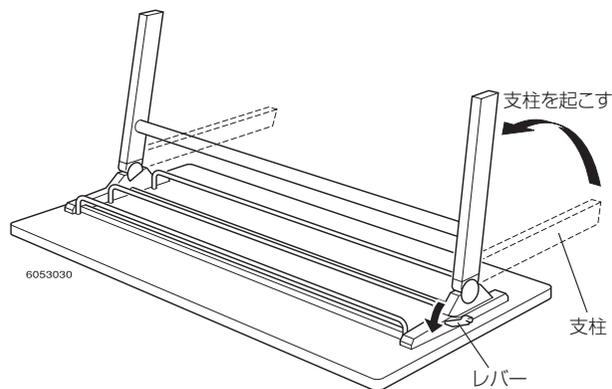
①構成部品

組み立てる前に、部品の数を確認してください。

部品の種類	パネル付き	パネルなし
テーブル本体	1	1
脚	2	2
六角穴付ボタンボルト M8×35	4	4
バネ座金 M8用	4	4
平座金 M8用	4	4
前パネル	1	
パネル受け金具	2 (左右各1)	
パネル取付ファスナー	4	

②組み立てかた

1.天板を裏返しに置き、レバーを矢印の方向に押し、支柱を起こしてください。
ロック装置が支柱を確実に固定していることを、確認してから手を離してください。

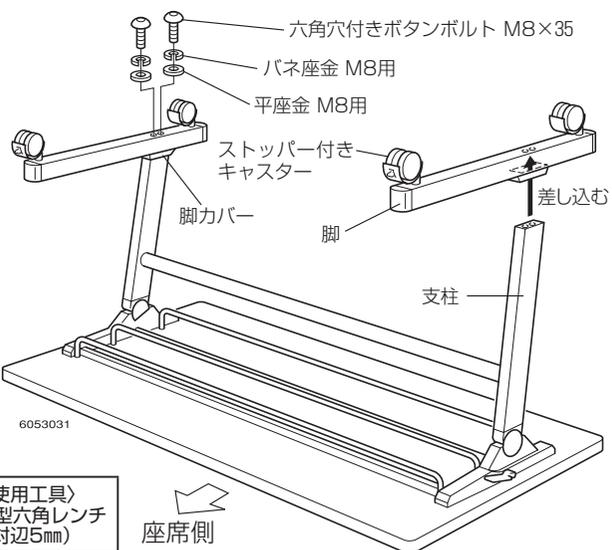


△注意

支柱を立てた状態で、レバーを動かさないでください。

ロックが解除されて脚が急に倒れ、けがをすることがあります。

2.脚のストッパー付きキャスターを座席側にして、脚を支柱にボルトで取り付けてください。
このとき、脚力バーが外れている場合は、元通りに取り付けてください。

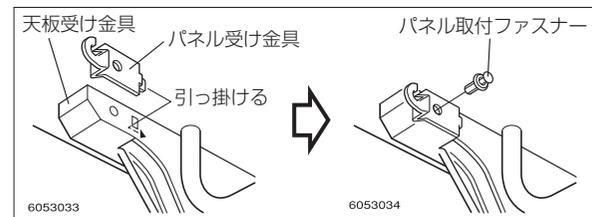


〈使用工具〉
L型六角レンチ
(対辺5mm)

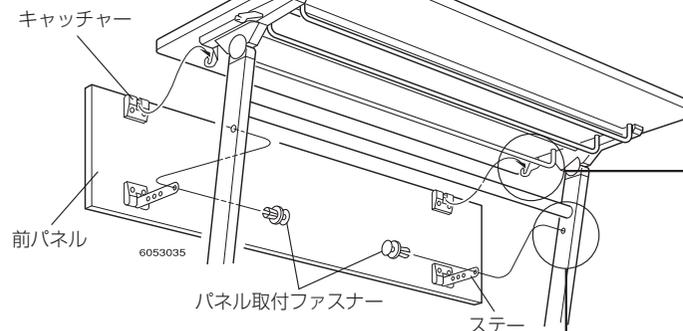
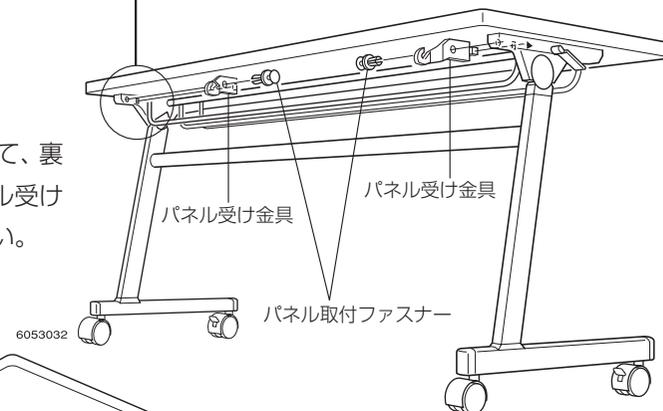
⑤

③前パネルの取り付け (パネル付きタイプのみ)

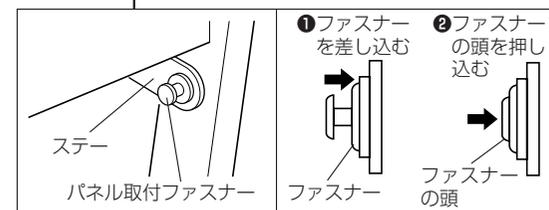
1.天板受け金具にパネル受け金具を、図のように取り付けてください。



2.前パネルを斜め向きにして、裏面のキャッチャーをパネル受け金具に引っ掛けてください。



3.前パネルのステーを、支柱にパネル取付ファスナーで固定してください。
パネル取付ファスナーは、ファスナーを完全に差し込んだ後①、ファスナーの頭を押し込んで②ください。



以上で、組み立ては完了です。ガタツキがないか確認してください。

⑥